

【保育所版】 秋田県福祉サービス第三者評価 評価結果表

| | |
|---------|-------------------|
| 評価実施基準日 | 平成 24 年 12 月 25 日 |
| 評価確定公表日 | 平成 25 年 2 月 20 日 |
| 評価情報更新日 | 平成 年 月 日 |

◆ 評価を実施した機関

| | |
|-----------|-------------------------------------|
| 名称 | (特定非営利活動法人) 秋田県福祉施設士会 |
| 所在地 | (〒 018 - 3454) 北秋田市脇神字高村岱281-4 |
| TEL | (0186) 60 - 1071 |
| FAX | (0186) 60 - 1071 |
| E-mail | murakou-0101@w4.dion.ne.jp |
| ホームページURL | |

◆ 評価を受審した事業者

| | |
|-----------|--|
| 法人名称 | (社会福祉法人) オオノホイクエン 大野保育園 |
| 法人所在地 | (〒 010 - 1423) 秋田市仁井田字西湯敷11番地 |
| TEL | (018) 834 - 9200 |
| FAX | (018) 833 - 9211 |
| 法人代表者 | 理事長 相場美保子 |
| 事業所名 | シャカイフクシ ホウジン オオノホイクエン 社会福祉法人 大野保育園 |
| サービス種別 | 保育所 |
| 管理者名 | 園長 相場靖子 |
| 開設年月日 | 昭和 52 年 4 月 1 日 定員数 140 名 |
| TEL | (018) 834 - 9200 |
| FAX | (018) 833 - 9211 |
| E-mail | oonohoikuen@violin.ocn.ne.jp |
| ホームページURL | http://www.ans.co.jp/n/ohono |

◆ 評価の総評（優れている点、改善を求められる点）

| |
|--|
| <h4>I 福祉サービスの基本方針と組織</h4> <p>暖かなまなざしと愛情を持った施設長のリーダーシップのもとで職員一丸となった保育活動は、定員（140名）以上にもかかわらず子ども一人ひとりに配慮された関わりを持っており、理念・基本方針・保育目標（ホームページ記載）と策定されています。しかし、中・長期計画は策定されているものの、単年度計画に反映されていません。組織として全職員に事業計画を配布し理解されるように望みます。歴史の長い民間施設らしく施設長の責任とリーダーシップはしっかりと果たされ、朝・夕の登園帰宅時の保護者と子どもに個別的に毎日適切な声かけに取組んでおります。今後とも、全職員と保護者による組織的な運営に励み、益々のご奮闘をお祈りします。</p> |
| <h4>II 組織の運営管理</h4> <p>当該保育所の置かれている地域は中核都市の郊外であり、県営・市営などの公立宿舎が増加傾向にあることから、本園では地域の特徴・変化等の把握に努めています（当該保育所の卒園児の子どもが入園）。外部監査が適切に実施されており、人材の確保・養成にも少なからず配慮され、子ども達の安全対策には特に力が入れられており、津波避難に対する訓練も抜き打ち的に実施されています。地域との交流・連携も園独自の夕涼み会や大運動会、老人施設訪問や月1回の遊び前後による清掃活動など主に入所している子ども中心に展開されています。今後は、全職員・保護者等による「情報の相互交流による共有化の工夫された取り組み」をより一層期待致します。</p> |
| <h4>III 適切な福祉サービスの実施</h4> <p>利用者（人権）を尊重したサービス提供の姿勢は、理念「子ども一人一人の個性を大事にし、人間形成の素地を育成……」に明記され、施設長のリーダーシップのもとで利用者を尊重した具体的保育・保育サービスが実施されておりました。利用者満足に繋がる意見、提案の吸い上げ方法について苦情対応マニュアルに沿って運用されておりましたが、苦情とまではいかない複数の利用者からの意見・提案についての取扱いに工夫が必要と思われる。また、個人情報保護に関するマニュアルの基本が「金融分野における個人情報保護に関するガイドライン等の規程の趣旨に沿って……」策定されておりましたが、福祉現場においては、現実的でなく、「福祉関係事業者における個人情報の適正な取扱いのためのガイドライン」や「個人情報の保護に関する法律」を参考に検討が必要と思われる。適切な福祉サービスの実施においては、保護者等からの意向など聴取を実施した後の分析・検討結果に基づき改善等を保護者等にフィードバックする仕組みの工夫が必要と思われる。</p> |
| <h4>A 保育所保育の基本、子どもの生活と発達、保護者に対する支援</h4> <p>「子ども一人ひとりの個性を大事にし、愛と情熱を持ってたくましく人間形成の素地を育成するとともに保護者、地域と力を合わせ児童の福祉を積極的な増進に努める」を理念に掲げ、子ども達・若い保護者に大人気の園長先生を中心に、毎日の保育が生き生きと実施されております。又園内はきれいに整理整頓されており広く利用できるように配慮されております。アンケートで保護者からも掃除が行き届いていると高い評価を得ており、生活の場にふさわしい環境が提供されていることを意味しています。今後是非継続してください。又、マニュアルの整備、自己評価、個別面談などに積極的に取り組み、更に充実した保育を目指して下さるようお願いいたします。</p> |
| <h4>※ その他、特記事項</h4> <p>保護者アンケート結果（回収率60%台）では、直接「園長先生」と名指しで記入が多く「自由記述」の40%前後が「人柄が気さくで保護者・子ども達から慕われている。この園に入園出来て感謝している。」など施設長の支持者が多かったのですが、ハード面では「駐車スペースが狭い」でアンケート解答者の50%以上の保護者がその改善を要望しております。都市近郊の住宅街に位置している本園は時代と共に定員変更を求められる待機児童解消の波を受け、ますます手狭なハード面で運営を迫られています。今後、車利用者の増加を考慮し安全のためにもその工夫された改善策を強く要望致します。</p> |

◆ 細目の評価結果（基本評価53項目）

| 項 目 | 評価結果 | 優れている点・改善を求められる点 | 評価結果に対する事業者からの意見 |
|------------------------------------|------|--|--|
| I 福祉サービスの基本方針と組織 | | | |
| 1 理念・基本方針 | | | |
| (1) 理念、基本方針が確立されている。 | | | |
| ①理念が明文化されている。 | a | 理念が園内・事業計画・保育課程・パンフレット等に明文化されています。 | 今後も職員や保護者等へわかりやすく伝えていきます。 |
| ②理念に基づく基本方針が明文化されている。 | b | 理念の中に「保護者と地域福祉と力を合わせ」とありますが、基本方針の中にこのことが具現されていなく、理念と基本方針が不一致の部分がありますので一致させるよう望みます。 | 理念の「保護者と地域福祉と力を合わせ」に関する部分を基本方針に反映せるよう改善を図ります。 |
| (2) 理念や基本方針が周知されている。 | | | |
| ①理念や基本方針が職員に周知されている。 | b | 年度当初には理念・方針など職員に配布はされているものの、年度途中採用職員には必ずしも配布され周知されているとはいえませんので改善を求めます。 | 理念・方針等を全職員に周知せさせる為、年度途中採用者への配布や説明を必ず行います。 |
| ②理念や基本方針が利用者等に周知されている。 | b | 理念・基本方針を園内の目につく場所・保護者用パンフレット等で関係者に周知していますが、地域に対するわかりやすさの説明を加えた配布・工夫等が求められます。 | 理念や基本方針、保育所の行事等を地域の住民や関係機関に対してわかりやすく説明した資料や広報誌等を配布し、周知してもらうよう工夫していきます。 |
| 2 事業計画の策定 | | | |
| (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 | | | |
| ①中・長期計画が策定されている。 | b | 平成24年度からの中・長期計画は策定されていますが、達成年度の計画がやや具体性に欠けていますので、具体的に事業年度をチェックする必要があります。 | 事業年度が具体的に進められるよう中・長期計画の見直しをします。 |
| ②中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。 | c | スタートが平成24年度からの中・長期計画策定の為に事業計画には反映されていません。中長期計画を踏まえた平成24年度の事業計画の策定を望みます。 | 中・長期計画に反映した平成24年度の事業計画を策定します。 |
| (2) 事業計画が適切に策定されている。 | | | |
| ①事業計画の策定が組織的に行われている。 | b | 事業計画の策定に関する取り組みが職員会議録・インタビューなどでも職員参画の取り組みが確認出来ません。今後、事業計画の意識的な策定を願います。 | 事業計画の策定について、職員参画の取り組みを進めていきます。 |

| 項 目 | 評価結果 | 優れている点・改善を求められる点 | 評価結果に対する事業者からの意見 |
|----------------------------------|------|--|---|
| ②事業計画が職員に周知されている。 | c | 事業計画が職員に配布されていません。今後に期待します。 | 職員会議等で全職員に事業計画を配布、説明をします。 |
| ③事業計画が利用者等に周知されている。 | b | 各計画は「園だより」で保護者等に配布されていますが、理解を促すための取り組みが十分とはいえませんので、今後のわかりやすい理解の工夫を求めます。 | 各計画について、より理解しやすいような資料を作成する等工夫を行っていきます。 |
| 3 管理者の責任とリーダーシップ | | | |
| (1) 管理者の責任が明確にされている。 | | | |
| ①管理者自らの役割と責任が職員に対して表明されている。 | a | 管理者自らの役割と責任について必ず各会議や研修において意見や考え方、特に災害時における役割と責任を明確にし、また専門性の向上に努めています。 | 今後も専門性の向上に努め、施設長としての責務を遂行いたします。 |
| ②遵守すべき法令等を正しく理解するための取組が行われている。 | b | 遵守すべき法令等正しく理解するために、研修会や勉強会に参加しています。必要時の具体的な取り組みに備えて「法令情報のリスト化」などの配慮の要望をします。 | 遵守すべき法令等のリスト化の取り組みを進めていきます。 |
| (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。 | | | |
| ①質の向上に意欲を持ちその取組に指導力が発揮されている。 | a | 「職員の家庭を大事に、虐待の発見等のためには保護者の職場を大切に」ように常に子どもの最善の利益を考慮した指導力が発揮されています。 | 保育の質の向上について、園の良さや課題を把握し、改善の為の具体的な取り組みを継続していきます。 |
| ②経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力が発揮されている。 | a | 人事・労務・財務等の面から分析を行い、組織の理念・基本方針の実現に向けて人事配置（23年度事業報告書から）や職員の働きやすい環境整備に取り組んでいます。 | 組織の理念や基本方針の実現に向けて、人事配置、職員の働きやすい環境整備を継続していきます。 |
| II 組織の運営管理 | | | |
| 1 経営状況の把握 | | | |
| (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。 | | | |
| ①事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。 | a | 県営・市営・雇用促進住宅等各住宅増加傾向で子どもの数や世帯構成を把握し、地域での特徴変化といったニーズ把握にも取り組んでいます。 | 今後も地域での特徴変化といったニーズ把握に取り組んでいきます。 |
| ②経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組が行われている。 | b | 保護者等との毎日の「挨拶・声掛け」などから改善すべき課題を発見し取り組まれています。今後事業全体からの優先すべき課題発見の取り組みを要望します。 | 事業全体からの優先すべき課題発見の取り組みを進めていきます。 |
| ③外部監査が実施されている。 | a | 公認会計士による会計管理体制、整備状況の点検を取り入れています。指導や指摘事項に基づいて経営の改善をしています。 | 公認会計士による会計管理体制、整備状況の点検の取り入れを継続していきます。 |

| 項 目 | 評価結果 | 優れている点・改善を求められる点 | 評価結果に対する事業者からの意見 |
|---|------|--|---|
| 2 人材の確保・養成 | | | |
| (1) 人事管理の体制が整備されている。 | | | |
| ①必要な人材に関する具体的なプランが確率されている。 | a | 必要とされる資格・経験等により、職員配置等の具体的なプランが事業計画・報告書に記載されています。 | 必要とされる資格・経験等により、職員配置の具体的なプランの確立をし、それに基づいた人事管理を継続していきます。 |
| ②人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。 | b | 定期的な個別面接を通し、職員の希望聴取、施設長の意向の伝達、今後の指導や自己啓発の方法を話されていますが、客観的な基準に基づいていません。今後期待します。 | 面接時に期待している仕事内容を明確に示し、人事考課を進めていきます。 |
| (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。 | | | |
| ①職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。 | a | 有給休暇消化率・時間外労働・疾病状況の定期的チェックを担当者が実施しており、職員の意向も把握しています。必要があれば改善する仕組みとなっています。 | 職員が常に仕事に対して意欲的にのぞめるような環境整備を継続していきます。 |
| ②職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。 | b | 健康診断・予防接種は看護師が相談等で実施されていますが、福利厚生面の取り組みでは福利協会には加入していませんが、「福利厚生センター未加入」となっています。 | 職員に希望の聴取等を行い、福利厚生センター加入を検討していきます。 |
| (3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。 | | | |
| ①職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。 | b | 保育の資質向上及び職員全体の専門性の向上を図るための研修計画の明示がありますが、組織の研修に関する基本姿勢は明示されていません。事業計画等に明示を求めます。 | 事業計画に研修に関する基本姿勢を明示します。 |
| ②個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。 | b | 職員一人ひとりについての経験年数と技能を把握して研修計画が策定されているものの、年数での責任範囲、階層別等の具体的な取組の姿勢の明示を期待します。 | 個別の職員の年数での責任範囲、階層別等の具体的な取組も行い、研修計画を策定します。 |
| ③定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しが行われている。 | b | 研修終了の職員は報告書を作成し回覧したり会議で発表していますが、次回の研修計画に反映されていません。今後期待します。 | 研修担当者を設置し、体系的、計画的に評価・分析された結果を次の研修計画に反映するよう進めていきます。 |
| (4) 実習生の受入れが適切に行われている。 | | | |
| ①実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組が行われている。 | a | 実習生受け入れに関する規定があり、会議等で職員に基本姿勢等を説明し、効果的プログラムも用意するなど積極的に受け入れています。 | 今後も基本姿勢を明確にし、積極的に受け入れていきます。 |

| 項 目 | 評価結果 | 優れている点・改善を求められる点 | 評価結果に対する事業者からの意見 |
|---|------|--|---|
| 3 安全管理 | | | |
| (1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。 | | | |
| ①緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。 | a | 緊急時のマニュアルが策定されており、実際にいろいろな発生時（事故・感染症など）の想定した対応策が整備され機能しています。 | 緊急時における利用者の安全確保を継続していきます。 |
| ②災害時に対する利用者の安全確保のための取組が行われている。 | a | 避難訓練を抜き打ちに実施、地震、津波についても訓練を行っています。非常用災害備品庫も設置され様々な発生に応じて対応できるような安全確保の取組みをしています。 | 今後も子どもの安全確保の為に地域の関係機関と連携し、避難訓練等を継続していきます。 |
| ③利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策が実行されている。 | a | 事故防止の為にチェックリスト、ヒヤリハットを組織として収集し要因分析と対応策の検討を行っており、事故を未然に防ぐようにしています。 | 今後もヒヤリハットを整備した上で、収集した事例を有効に活用し、事故を未然に防いでいきます。 |
| 4 地域との交流と連携 | | | |
| (1) 地域との関係が適切に確保されている。 | | | |
| ①利用者と地域とのかかわりを大切にしている。 | b | 老人施設訪問（年1回）・清掃ちよびり運動（毎月）を子どもの体験を交えながら地域への働きかけを行っています。地域交流を意識的に計画的な働きかけを望みます。 | 地域交流について意欲的な計画を立てて、実践していきます。 |
| ②保育所が有する機能が地域に還元されている。 | b | 園庭の開放を実施し、見学者や育児相談のための看板を設置したりと体制作りにも努めていますが、実際の充実した活動に関しては今後に期待します。 | 地域の保護者に対する子育て支援を積極的に行えるよう努めます。 |
| ③ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制が確立されている。 | a | ボランティア受け入れについて、学習のねらい、服装、持ち物、体験までの流れ、担当者など明文化されており、職員にも理解されています。 | 今後もボランティアを積極的に受け入れ、地域関係機関、団体等との連携を深めていきます。 |
| (2) 関係機関との連携が確保されている。 | | | |
| ①必要な社会資源が明確にされている。 | b | 保育所の役割や機能を達成するために必要とされる連携機関・団体は掲げられていますが、リスト化・職員間での共有化に工夫を求めます。 | 連携機関・団体等をリスト化し、職員会議で説明する等職員間で情報の共有化を図るよう努めます。 |
| ②関係機関等との連携が適切に行われている。 | b | 関係する一部の関係機関・団体との連携はありますが、定期的に連携の機会を確保し、具体的課題・事例等の検討は行われていません。今後検討課題となります。 | 地域の関係機関・団体等と連携し、具体的課題・事例等の検討を行うよう取り組んでいきます。 |
| (3) 地域の福祉向上のための取組が行われている。 | | | |
| ①地域の福祉ニーズが把握されている。 | b | 地域の声や要望は伝わって居ますが、その都度の対応のみで定期的な話し合いまでには至っていないので、工夫された今後の対応になります。 | 関連機関等と定期的な会議を開催し、具体的な福祉、子育てニーズの把握に努めます。 |

| 項 目 | 評価結果 | 優れている点・改善を求められる点 | 評価結果に対する事業者からの意見 |
|--|------|---|--|
| ②地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。 | b | 一時預かり事業は実施されていますが、相談等地域ニーズに基づく計画はあるものの、今後の期待に待たれます。 | 福祉ニーズ等に基づいた具体的な事業・活動の中・長期計画や事業計画、保育の計画等に反映させるよう検討していきます。 |
| Ⅲ 適切な福祉サービスの実施 | | | |
| 1 利用者本位の福祉サービス | | | |
| (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。 | | | |
| ①利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組が行われている。 | a | 利用者を尊重したサービス提供の基本姿勢は、理念「子ども一人ひとりの個性を大事に…」に示されておりました。 共通理解を持つ取組は、年度初めに理念・基本方針・保育目標を説明する中で深められており、平成24年4月28日職員会議録で確認しました。 | 一人ひとりの子どもを尊重した保育について基本姿勢を説明し、共通理解を持つ取組を継続していきます。 |
| ②利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等が整備されている。 | c | プライバシー保護に関するマニュアルは確認できませんでした。保育の場面ごとに作成されている手順書のなかでもプライバシー保護に関する留意事項も確認できませんでした。 | 子ども・保護者のプライバシーの保護について、規程・マニュアル等の整備をし、職員に周知する為の取り組みを行います。 |
| (2) 利用者満足の向上に努めている。 | | | |
| ①利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組が行われている。 | b | 利用者満足の向上に向けたクラス懇談会は数回（10/19・10/23・10/25）に分けて実施されておりましたが懇談会を実施した記録のみで出された意向等を活用した具体的な運営や保育改善に結びつける取組は今後の課題と言えます。 | 保護者の意向に関する調査等を定期的に行い、改善の課題の発見や、改善課題への対応策の評価・見直しの検討を行います。 |
| (3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。 | | | |
| ①利用者が相談や意見を述べやすい環境が整備されている。 | c | 日常的に接する職員以外に相談窓口を設置したり、複数の相談方法や相談相手の中から自由を選ぶことをわかりやすく説明した文書の配布、それらの内容をわかりやすい場所への掲示する取組は確認できませんでした。 | 保護者が、複数の相談方法や相談相手の中から自由を選ぶことを、わかりやすく説明した文章を作成し、掲示します。 |
| ②苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能されている。 | a | 「苦情解決実施要項」が整備されておりました。 体制等の院内掲示は、第三者委員から連絡先を明記することへの意見があり、その配慮から掲示は控えておりました。 | 今後も利用者からの苦情の適切な解決に努めていきます。 |
| ③利用者からの意見等に対して迅速な対応が行われている。 | c | 利用者からの意見に対する対応マニュアルは確認できませんでした。 意見等については、直接聞いて対応している事を聞き取りで確認しました。 その直接聞いている取組をマニュアル化する事により、より迅速・適切な対応が期待されます。 | 保護者からの意見に対する対応マニュアルを作成し、迅速な対応体制を整えていきます。 |
| 2 サービスの質の確保 | | | |
| (1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。 | | | |
| ①サービス内容について定期的に評価を行う体制が整備されている。 | b | この度の第三者評価受審にあたりサービス内容の「自己評価」を実施したとの事でした。 今後は厚生労働省の「保育所における自己評価ガイドライン」または秋田県幼保推進課で作成している「保育所における自己点検・自己評価」を参考に継続する事を期待します。 | 保育所における自己評価ガイドラインを参考に自己評価を継続し、保育の質の向上に努めます。 |

| 項目 | 評価結果 | 優れている点・改善を求められる点 | 評価結果に対する事業者からの意見 |
|---|------|--|--|
| ②評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施されている。 | c | この度の第三者評価受審にむけてのサービス内容の評価であったため、課題の整理や取り組むべく課題は整理されておりませんでした。 | 今回実施した第三者評価や自己評価の課題の整理や取り組むべき課題を整理し、改善策や改善実施計画を立て、実施していきます。 |
| (2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立されている。 | | | |
| ①提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。 | b | 標準的な実施方法については文書化されておりましたが、具体的な場面ごとの保育士の関わりや子どもの活動（例えば登園の場面、食事の場面、遊びの場面、保護者との連携の場面、子育て支援の場面など）におけるプライバシーへの配慮等を加筆することも検討したい。 | 事業計画、保育課程等にプライバシーへの配慮を明示し、サービスに努めます。 |
| ②標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立されている。 | c | 組織としての定期的な検証や見直しの取り組みは、確認できませんでした。 | 組織としての定期的な検証や見直しの取り組みを行ない、改善し、保育の質の向上に努めます。 |
| (3) サービス実施の記録が適切に行われている。 | | | |
| ①利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。 | a | サービス実施状況については、「育ちの記録」等で確認できました。施設管理規程第11条（保育経過の記録）「職員は、個々の児童の保育経過及び家庭訪問の結果を別に定める保育日誌及び児童票に記録するものとする」との整合をとるよう整理が必要と思われます | 子どもに関するサービス実施状況を記録し、職員の情報の共有化を継続していきます。施設管理規程の見直しも検討していきます。 |
| ②利用者に関する記録の管理体制が確立されている。 | a | 「個人情報取扱規程」が整備されておりますが、「金融分野における個人情報保護に関するガイドライン」の主旨に沿って作成されておりました。福祉現場においては、「福祉関係事業者に関するガイドライン」に基づく内容が適切と思われます。 | 個人情報保護規程を福祉関係事業者に関するガイドラインに沿って見直し、改正していきます。 |
| ③利用者の状況等に関する情報が職員間で共有化されている。 | a | 必要に応じケース会議で共有を図っておりました。ケース会議用として提出された資料は、「個別食事指示書」でした。子どもや保護者の個別のケースに対する保育や援助について、職員間で情報を共有し、保育や保護者支援に活かすためのケース会議であることから、会議で使用する様式について工夫が必要と思われます。 | 今後も必要に応じてケース会議を開催し、共有を図ります。ケース会議で使用する様式を内容的に確実に伝えられるよう工夫します。 |
| 3 サービスの開始・継続 | | | |
| (1) サービス提供の開始が適切に行われている。 | | | |
| ①利用希望者に対してサービス選択に必要な情報が提供されている。 | a | ホームページが開設されており、保育・保育サービス内容が見えるようになっております。また、秋田市保育祭りなどでパンフレット等を配布している取組を聴取により確認しました。 | 今後も保育サービス選択に必要な情報を提供していき、定期的に更新していくよう心掛けていきます。 |
| ②サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。 | b | 調査では、説明したから同意でなく、同意にいたる過程を大切に扱うことの必要性から同意を内容とした書面を残すことを求めています。「同意」の言葉でなくとも、保育・保育サービス開始にあたり利用者が了解した内容が汲み取れる書面についてご検討ください。 | サービス開始にあたり保護者にわかりやすく説明をしていますが、内容等が具体的に記録された書面や同意に関する保護者の確認は今後検討し文章として保存していきます。 |
| (2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。 | | | |
| ①保育所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応が行われている。 | b | 子どもにとって生活が途切れる事なく継続される事は必要であり、関わる機関はそれに配慮していく事が求められます。子育て支援として、保育・保育サービス終了後であっても、園だより等に相談窓口がある事を知らせる方法などご検討ください。 | 子育て支援として、保育・保育サービス終了後であっても、園だより等に相談窓口がある事を知らせる方法などを検討し、実行していきます。 |

| 項 目 | 評価結果 | 優れている点・改善を求められる点 | 評価結果に対する事業者からの意見 |
|------------------------------|------|--|---|
| 4 サービス実施計画の策定 | | | |
| (1) 利用者のアセスメントが行われている。 | | | |
| ①定められた手順に従ってアセスメントが行われている。 | b | 入園時のアセスメントについて個人面接表により、確認できました。 | アセスメントについて、定期的な見直しの時期と手順を定めて実施するようにします。 |
| (2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。 | | | |
| ①サービス実施計画が適切に策定されている。 | a | 年間指導計画および個別指導計画により確認できました。 | 今後も保育課程に基づきサービス実施計画を適切に策定することを継続します。 |
| ②定期的にサービス実施計画の評価・見直しが行われている。 | b | 定期的な評価・見直しは、実施されておりました。しかし計画に変更があった時は、子どもが帰る時に変更点を保護者に伝える取組が実施されている事を確認しました。 | 定期的な評価・見直しを実施し、記録していきます。 |

◆ 細目の評価結果（内容評価24項目）

| 項 目 | 評価結果 | 優れている点・改善を求められる点 | 評価結果に対する事業者からの意見 |
|--|------|--|---|
| 1 保育所保育の基本 | | | |
| (1) 養護と教育の一体的展開 | | | |
| ①保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。 | a | 保育方針、目標に基づき子どもの発達を踏まえながら職員参画のもと作成されております。又地域の実態、家庭状況、保育時間なども考慮されております。今後、評価を定期的に行い改善に結び付けていくこと望みます。 | 評価を定期的に行い改善に結び付けていくようにします。 |
| ②乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。 | a | 個別の指導計画が作成され、一人ひとりの状況に配慮した取り組みが行われております。SIDSに関する取り組みもしっかり実施されております。計画は定期的に評価をし改善に繋げていくことが大切です。 | 今後も衛生的で安全性に配慮しながら、個々を大事にした環境を整えていきます。 |
| ③1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。 | a | 保育所保育指針で示しているように、一人ひとりの育ちにに応じて基本的な生活習慣が身につくように、又安心して自発的な活動が出来るような保育が行われていることを指導計画で確認しております。 | 今後も1.2歳児の子どもにとって相応しい環境の整備や保育への配慮をしていきます。 |
| ④3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。 | a | 3.4.5歳児の保育は集団の中で遊びを中心に活動に取り組み自分を発揮しながら友達と協力してひとつのことをやり遂げることが出来るような保育が求められておりますが、年間、月別の指導計画で実施されていることを確認しております。 | 今後も基本的な生活習慣や態度を身に付けることの大切さを理解し、適切な行動を選択できるように配慮していきます。 |
| ⑤小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮されている。 | a | 近隣小学校への体験入学、幼・保・小連絡協議会への参加で小学校以降の生活を見通せるような関わりをしています。保育所児童保育要録は職員参画のもと作成され小学校に送付されております。 | 今後も子どもや保護者が小学校以降の生活について見通しがもてるように配慮していきます。 |
| (2) 環境を通して行う保育 | | | |
| ①生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。 | a | 園舎全体に掃除が行き届いており、保育室内は整理整頓されていて広く利用できるように工夫されています。子ども達が心身ともに安らげるような保育の提供が行われていることを各指導計画にて確認しています。 | 今後も衛生面に考慮し、子どもの生活が安定し、活動が豊かなものになるように、人的・物的環境を計画的に構成・工夫して保育を進めていきます。 |
| ②子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。 | a | 基本的な習慣が身につけ、自分のことは自分で出来るように一人ひとりに合わせた援助が行われていることを年間指導計画、個別指導計画、保育日誌、連絡帳等で確認しています。 | 基本的な生活習慣を身に付ける為の環境の整備を継続していきます。 |
| ③子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友達との協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。 | a | 3歳以上児が合同で触れ合う機会が多くあり、主体的に交流できるように配慮されております。又友達と協同で活動できるように配慮されていることも指導計画で確認しています。当番活動も指導計画の中に位置づけられております。 | 子どもが主体的に交流できる環境や友達との協同的な体験ができる環境作りを継続していきます。 |
| ④子どもが主体的に身近な自然や社会と関われるような人的・物的環境が整備されている。 | a | 年間指導計画に記載されております。戸外遊びを十分に自然に行い自然に触れ合える保育が提供されています。バスを利用して空港に出かけたたり老人施設を訪問し社会体験できる環境を提供しています。 | 自然を生かした保育や社会体験を取り入れ、様々な経験ができる環境作りを継続していきます。 |

| 項目 | 評価結果 | 優れている点・改善を求められる点 | 評価結果に対する事業者からの意見 |
|---|------|---|--|
| ⑤子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。 | a | 保育課程や指導計画の中に様々な言語や表現活動が体験できる工夫や配慮が記載されております。 | 保育課程や指導計画に基づき、言葉を含めて様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境の整備を継続していきます。 |
| (3) 職員の資質向上 | | | |
| ①保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。 | b | 自己評価を行ったばかりということで結果を拝見できませんでした。今後は定期的な実施を希望いたします。自らの保育を検証することで意識の向上に繋げることが出来ます。 | 定期的に自己評価を実施し、自らの保育を検証し、意識の向上に努めます。 |
| 2 子どもの生活と発達 | | | |
| (1) 生活と発達の連続性 | | | |
| ①子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。 | a | 子ども一人ひとりを受容するための援助が行われていることを保育課程や年間指導計画で確認しています。 | 指導計画に基づき、子ども一人ひとりの受容を援助していくことを継続していきます。 |
| ②障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。 | / | 該当児はおりませんでした。しかし、障害児保育に備え研修に参加し体制を整えております。 | |
| ③長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。 | a | 家庭的な雰囲気を感じられる環境の提供、献立表に軽食の記載があり提供もされている、異年齢とのふれあい、職員間の引継ぎがしっかり行われているなど長時間保育にふさわしい内容で保育が提供されております。 | 一日の生活を見通して、その連続性に配慮し、家庭的な雰囲気やくつろぎを作り出すための工夫をしています。異年齢の交流や職員間の引き継ぎや保護者への適切な伝達を継続していきます。 |
| (2) 子どもの福祉を増進することに最も相応しい生活の場 | | | |
| ①子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。 | a | 衛生管理マニュアルと感染症マニュアル、保健計画は作成されております。既往歴・予防接種の状況は児童票の育ちの記録欄に記載済みです。体調の優れない子どもに対しては連絡帳にて情報交換し適切に対応されております。 | 子どもの健康管理に関するマニュアルを整備し、既往歴・予防接種の状況は、記録管理しています。個々の健康状態を把握し、関係職員間でその情報を共有しています。体調のすぐれない子どもに対しては保護者との連絡を密にして対応しています。 |
| ②食事を楽しむことができる工夫をしている。 | a | 「食事の取り組み」計画で食事が楽しめるような環境が提供されております。戸外給食、クッキング保育、行事食など様々な食事スタイルが工夫されています。 | 今後も子ども達が食事を楽しめるような環境を提供していきます。食育計画・以上児食事計画の評価・改善を進めていきます。 |
| ③乳幼児に相応しい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。 | a | 面談で一人ひとりの食事量や嗜好は把握されております。検食簿が記載されており改善に繋げております。又毎日手作りおやつや行事食も提供されております。給食担当者が保育室を訪問、子ども達の話聞く機会を設けています。 | 喫食状況を確認したり、個々の発育状況や体調を考慮した食事の提供や手作りおやつを提供を継続していきます。 |
| ④健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。 | a | 健康診断は5月と10月に、歯科検診は6月に実施されており、職員会議で周知されております。保護者には、一人ひとりに手紙を配布し知らせております。 | 健康診断や歯科検診の結果を保護者一人ひとりに手紙を配布し、伝えていきます。関係職員間での周知もしています。日々の保育で健康な体作りや歯磨きの大切さを伝えていきます。 |

| 項 目 | 評価結果 | 優れている点・改善を求められる点 | 評価結果に対する事業者からの意見 |
|---|------|--|---|
| (3) 健康及び安全の実施体制 | | | |
| ①アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。 | a | 主治医からの指示書をもとに全職員で周知、保護者と密接に連携しながら対応しています。わかりやすく書いた名札をつけ、テーブルを別にするなど他の子どもとの相違に配慮しています。 | アレルギー疾患、慢性疾患等の子どもにおいては、子どもの状況に応じて、主治医等、保護者、との連携の下に適切な対応を継続していきます。 |
| ②調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。 | b | 衛生管理マニュアルは存在しますが、手洗いの記述が中心で調理場、水周りなどの衛生管理に関することが記載されておりません。更に検討しマニュアルの整備を望みます。定期的な見直しや検討会の開催も必要です。 | 調理場・水回りなどについて、詳しく記載したマニュアルの整備に努めます。 |
| 3 保護者に対する支援 | | | |
| (1) 家庭との緊密な連携 | | | |
| ①子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。 | a | 献立表は、詳細に作成され食事の重要性を保護者に伝えていません。レシピの紹介やサンプルの提示も行われております。「食事の取り組み」として計画も作成されております。 | 今後も献立表などを通して、食事の重要性を保護者に伝えたり、野菜作りや収穫体験を通して食べ物に関心が持てるような環境作りを継続していきます。 |
| ②家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。 | a | 連絡帳で日常的な情報交換は実施しております。家庭の状況も意見交換されていることを児童票で確認しております。保護者はアンケートの結果から理解できるように、個別面談を希望しております。今後は是非実施できるよう希望致します | 連絡帳で日常的な情報交換を実施したり、家庭状況の意見交換を継続していきます。今後は、個別面談を実施し、保護者に対する育児支援の取り組みに努めます。 |
| ③子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。 | a | 懇談会や保育参加は、保護者との相互理解や共通理解を得るよい機会です。アンケートでも100%の評価を得ており保護者が満足している様子が伺えます。 | 今後も懇談会や保育参加を通して保護者との相互理解や共通理解を得るよう継続していきます。 |
| ④虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。 | b | マニュアルは作成済みですが、活用しやすいものに整備する事が大切です。チェックリストを作成する事により職員全体で虐待かどうかの視点を統一し活用する事が出来ます。関係機関連絡先一覧を表にし活用できるよう工夫してください。 | 虐待チェックリストを作成し、職員全体で虐待かどうかの視点を統一し活用できるように改善します。虐待に関する関係機関を一覧表を作成し、活用します。 |